

## 第03章

アマチュア無線を楽しむ上で大きな力になってくれる

# JARL(社団法人日本アマチュア無線連盟 The Japan Amateur Radio League, Inc)について

JR3QHQ 田中 透 Toru Tanaka

日本のアマチュア無線を代表する団体である社団法人 日本アマチュア無線連盟(The Japan Amateur Radio League, Inc., 以下JARLと略す)の役割と仕事について簡単に説明します。

### 3-1 JARLの始まり

日本におけるアマチュア無線の活動は大正時代に始まりました。そして大正15年、無線の好きな人たちが集まって「日本アマチュア無線連盟 JARL」という団体が設立されました。これが今日のJARLの始まりです。アマチュア無線は遠方の方との交信ができます。交信では情報の交換も可能です。このほかにもさまざまな理由が重なり、第2次世界大戦中、アマチュア無線は禁止されました。戦後、JARLは再結成されました。そして、禁止されていたアマチュア無線の再開の陳情を政府などに働きかけた結果、日本が主権を回復した昭和27年に戦後初めてのアマチュア局が許可されたのです。その後、昭和34年に社団法人となり、現在に至っています(表3-1)。

JARLは東京都豊島区巣鴨に連盟事務局を設置し、ここで会員のためのさまざまなサービスや組織の運営を行っています(写真3-1)。

### 3-2 JARLの組織

社団法人としてのJARLがどのような組織になっているか、簡単に説明しましょう。まず、一番上に総会があります。これは毎年5月に開催され、新年度のJARLの事業計画や予算などが決められます。次に理事会があります。ここは、総会の決定に基づき事業や予算を執行する機関です。ここまでは、会議や審議など行う機関で、その次が実際に活動を行う地方本部や支部になります。

地方本部(コール・エリアごとに10の地方本部がある)は、区域内の支部相互間の連絡調整などを行いながら活動を行っています。

表3-1 初期のJARLのあゆみ

1926年(大正15年)	日本アマチュア無線連盟(JARL)設立
1941年(昭和16年)	太平洋戦争によりアマチュア無線が禁止される
1945年(昭和20年)	太平洋戦争終結
1946年(昭和21年)	JARL再結成
1952年(昭和27年)	戦後はじめてアマチュア無線が許可される
1959年(昭和34年)	JARLが社団法人となる

参考文献：『アマチュア無線のあゆみ』CQ出版社